



## ◆ ALL English Day at Sanwa Junior High School in 2025 を開催しました



“Guess Who?”では、ヒントをもとに自分が何か推測しました。



“Word Poker”では、チーム一丸となって英単語を連想しています。

11月20日(木)、三和中学校主催で“ALL English Day”を開催しました。当日は終日、全校生徒が英語を使って学校生活を過ごすという取組です。各授業の挨拶や指示等、教職員も生徒と一緒に英語を話そうとチャレンジしました。

また、5、6校時では、English speakerとして、ALTたちをはじめ油木高等学校や神石高原中学校の先生、さらに地域や保護者の方たちをお迎えし、メモリー・チェイン・ゲームや連想ゲームなど英語を使った活動を行いました。どのグループも1年生から3年生が一緒に考えながら、懸命に各活動の課題に取り組んでいました。知っている単語やジェスチャーを使って何とかコミュニケーション

を取ろうとしている姿から、外国語を使う楽しさとともに難しさも実感している様子でした。

ゲストティーチャーたちのご協力のもと、英語の世界を存分に堪能することができました。

この“ALL English Day”的取組が、英語を使ってみたいという意欲につながればと楽しみです。



メンバーが伝える英語を参考にして、絵を描いています。



各グループで協力しながら英語を使うことを楽しみました。

まわりにはス・テ・キが溢れている!

先日、生徒会の委員会発案によるバレーボール大会や大縄跳び大会が行われました。

どちらも生徒の笑顔があふれ、楽しいひと時となっています。

企画してくれた人たちがいるからできた大会ですけど、盛り上がりったり、楽しかったりするのは、企画のすばらしさだけではありません。やはり、参加する人の気持ちが大事です。盛り上げよう、みんなと一緒に楽しもうという気持ちで参加する人が多くいるからこそその時間であったと思います。

心のあり方で見える景色は変わります。

本校の“Thanksgiving Day”では、感謝を伝えあう言葉が溢れました。

日頃、当たり前だと思っていることであっても、改めて言葉にしてみると、たくさんの感謝になっていました。

ありがとうの心で周りを見れば、自分の身近に素敵が溢れ、いっぱいあると気づきます。

一方で、「してもらって当たり前」という心で周りを見てしまうと、できていないことや、もっとしてほしいことに目が向き、感謝の気持ちなど出てくることはないよう思います。

素敵な毎日には、まずは自分の心を整えることから!ですね。 校長 辻 雅人



## ◆ 地域の担い手として、「探究的な学習」に取り組んでいます



英語を実際に使う場として、デコレーションイベントを行いました。

「総合的な学習の時間」において、各学年では神石高原町の魅力や課題について理解し、地域貢献を目指し、探究的な学習を進めています。

3年生では、7つのグループに分かれ、それぞれが課題解決を考え取り組んでいます。

例えば、地域の活性化に向け、英語を使うイベントを企画した「海外交流グループ」や地域の子育て支援の充実を目指し、子供たちの遊び場づくりに取り組んだ「福祉グループ」などです。地域の方から直接学び、知識や技術に触れたり、思いを聞いたりすることができました。

また、生徒たちは実際の「体験」を通し、地域をつくる担い手として、どのように関わればよいのかを考え、12月24日（水）の「次世代議会」では、探究的な学習の集大成としてこれまでの学びを発信していきます。



さんわフリマで遊び場づくりとして段ボール迷路を設置しました。  
約70名の参加がありました！

## ◆ 第27期生徒会選挙が実施されました



三和中学校をよりよくしたいと  
いう思いが伝わりました。

11月28日（金）、第27期生徒会会長及び生徒会副会長を選出する選挙が行われました。2年生では10月中旬から取組をスタートし、学校のリーダーになることについて考えてきました。そして今回、会長候補に2名、副会長候補に3名が立候補し、これからの中学校をどう発展させていくのかを全校生徒に訴えかけました。立候補した5名とその応援者は、熱意溢れる演説を行いました。生徒会長に選出された馬屋原和真さん、副会長に選出された石堂結衣子さんと若林大聖さんを中心に、今後決定する各種専門委員長とともに、三和中学校をより一層発展させてくれることと期待しています。



本物の記載台と投票箱を使って、投票しました。

## ◆ 「構成的グループエンカウンター」に取り組みました



じゃんけんゲームでは、チームで作戦を考え、声をかけあいました。

11月12日（水）、1・2年生で構成的グループエンカウンターに取り組みました。エンカウンターとは、自他に対する気づきを深め、お互いを認め合う活動です。

今回は学級担任がリーダーとしてエクササイズを行い、生徒たちは、その中で感じたことや気づきをグループ内で共有しながら、自分や他者への気づきを深めることができました。仲間を紹介する場面では、照れながらも、心の交流が感じられました。今後も、エンカウンターエクササイズを深めながら、自己発見や他者理解につなげ、良好な人間関係づくりを進めていきます。



友達のよいところを自分の言葉で  
伝えあいました。

先日、“Thanksgiving Day”の企画を行いました。これは「感謝祭」に関連し、日常にある「感謝」をメッセージで伝えようという取組です。生徒たちは、日々の生活を振り返りながら、家族や友達などに向け、懸命に想いを届けていました。

「ありがとう」と感謝の言葉をまっすぐに伝えることができる三和中学校の生徒たち。

いつまでも、感謝を大事にする人でいてほしいと願っています。

～ひとこと日記～

